

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



# 月刊アフリカニュース

2014年 11月 17日 No. 24

目次		ページ
ガボン月報	.....	1
セネガル月報	.....	2
タンザニア・ビジネスニュース	.....	2
ベナン月報	.....	3
モザンビーク月報	.....	4
ルワンダ月報	.....	5

## ガボン月報 (2014年10月)

### 【内政】

- 1 ボンゴ大統領による病院センター建築現場の視察
- 2 マイラ事件：野党・革新勢力連合（UFC）党首の逮捕・拘留
- 3 オナ・オンド第2次内閣の組閣
- 4 2015年政府予算案の承認
- 5 ボンゴ大統領就任5周年記念式典の開催
- 6 上院選挙実施日の公示

### 【外政】

- 1 ガボン・UNDP 協力：気候変動対策
- 2 ガボン・セネガル協力
- 3 ボンゴ大統領、ECCAS 共同軍事訓練終了式典に出席
- 4 ガボン政府、仏軍艦2隻を購入

### 【経済】

- 1 ガボン政府及びCGGが鉱区契約署名
- 2 ガボン行政機関ネットワーク化計画と新たな製油所建設計画について韓国と協議。
- 3 ガボン通信インフラ整備：光ファイバー・ケーブル敷設を計画

- 4 ガボン経済概況：経済成長率は、公共投資の増加を前提とし、非石油部門（7.6%、特に建設部門（10%）及びサービス部門（9%））が牽引し、全体で5.4%になるとIMFは予測。
- 5 Vaalco Energyによる石油生産開始
- 6 シェル・ガボンによるガス田発見
- 7 第1回ガボン石油・ガスフォーラムの開催
- 8 ガボン・モロッコ経済協力（マンジ島サイバーシティ計画）
- 9 ガボン石油公社（GOC）及びブルボン・ガボン社によるジョイントベンチャー協定署名

[http://www.ga.emb-japan.go.jp/pdf/gabon\\_geppo/gabon\\_geppo\\_10\\_2014.pdf](http://www.ga.emb-japan.go.jp/pdf/gabon_geppo/gabon_geppo_10_2014.pdf)

### セネガル月報（2014年10月）

#### 【内政】

- 13日、セック保健相は会見を開き、セネガルにおいてエボラ出血熱の流行が終息した旨を発表した。
- サル大統領は仏週刊誌「Jeune Afrique」のインタビューにおいて、大統領任期を7年から5年に短縮するため、2016年に国民投票を実施する旨述べた。

#### 【外政】

- 23日ー24日、ル・ドリアン仏国防相及びエウラテ西国防相がダカールを訪問し、サル大統領及びティン国防相と会談した。また、両大臣はワッカム軍基地を訪れ、仏及び西の軍関係者と面会した。

#### 【経済】

- 7日、英スコットランドの石油採掘業 CAIRN ENERGY 社は、セネガル南西部海域のサンゴマール深海鉱区において確認埋蔵量 2.5 億バレルの油層を発見した旨発表した。
- 9日、2015年度予算案が閣議決定された。来年度の総予算額は2兆8,690億 Fcfa で、うちセネガル新興計画（PSE）の主要27事業には2,150億 Fcfa が支出される。
- 28日に世銀が発表した Doing Business 2015 において、セネガルの順位189か国中161位。また、セネガルはビジネス環境改善に最も成果を上げた10か国に選ばれた。

<http://www.sn.emb-japan.go.jp/pdf/jp/sn/geppou1410.pdf>

### タンザニア・ビジネスニュース（2014年10月）

#### （上半期）

- 1 キクウェテ大統領、ダルエスサラームの渋滞改善について発言（運輸）
- 2 ダルエスサラーム中心部-ニエレレ国際空港間を結ぶ旅客用鉄道サービス MOU 締結（運輸）
- 3 タンザニア初、アスファルト乳剤製造工場の開設（製造・建設）
- 4 年次決算報告書の提出率、17%未満（ビジネス環境）
- 5 タンザニア国民、東アフリカ共同体域内統合に前向き（ビジネス環境）
- 6 中国、TAZARA 向け客車18両を寄贈、42両を修理（運輸）
- 7 リガンガの鉄鋼生産2018年に開始（天然資源）

- 8 IPTL 社の重油専焼火力発電所の天然ガス火力発電への切替え（電力・天然資源）
- 9 オブタラ・リソース社、農産物生産・加工事業を拡大（農業）
- 10 タンザニア深海鉱区で新規ガス田発見（天然資源）

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014101h.htm>

（下半期）

- 1 タンザニア電気通信社、伊と共同で東南部アフリカ地域に IP PoP を拡大（通信）
- 2 EU-EAC 間の EPA 交渉、最終合意に達する（ビジネス環境・貿易）
- 3 ケニアの塗料メーカー、タンザニア事業を拡大（製造）
- 4 エアテル社、国際モバイル送金サービス開始（通信・金融）
- 5 スクワイヤ・パットン・ボグズ、TANTRADE と共同でタンザニアのブランド構築事業を開始（貿易・ビジネス環境）
- 6 キクウェテ大統領の中国訪問（港湾・通信他）
- 7 石油ガス・ローカルコンテンツ政策 2015 年 6 月までに発表予定（天然資源）
- 8 ユーロ債の発行は、2015/16 年度以降に（金融・財政）
- 9 米国財務長官、タンザニアを訪問（外交・投資）
- 10 ポーランドのトラクター製造社、タンザニア進出に意欲（農業・製造）
- 11 カマニ畜産水産大臣、ビクトリア湖のナイルパーチ禁漁報道を否定（漁業）
- 12 ザンジバルの ZanChick 社、島内における鶏肉調達を計画（農業、製造）
- 13 世銀「Doing Business 2015 年」にてタンザニアのビジネス容易度向上（ビジネス環境）

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014102h.htm>

### ベナン月報（2014 年 10 月）

#### 【内政】

- 6 日、ヤイ大統領及び各憲法機関代表との間で地方選挙の実施時期を巡り協議が行われた。本協議後、バトコ最高裁判所長官は、技術的・予算的制約から本年度中の地方選は実施困難である旨メディアに対し説明した。
- 8 日、閣議において地方選挙を本年度中に実施する旨決定された。
- 10 日、ヤイ大統領は、ナゴ国民議会議長を含む国民議会幹部等との会合を開き、本年度中、可能であれば 12 月 28 日に地方選挙を実施したいと説明した。
- 29 日、市民団体の呼びかけに応じて約 7 千人の市民らが、早期の地方選挙実施を求めてコトヌ市内をデモ行進した。

#### 【外政】

- 20 日、ワガドゥグにおいて UEMOA20 周年記念式典が開催され、ヤイ大統領が出席した。

#### 【経済】

- 29 日、世銀の Doing Business が発表され、ベナンは昨年の 167 位より 16 位順位を上げ、

151 位であった。

●30 日、日本が草の根・人間の安全保障無償資金協力でウィダ市キンウェジ小学校に校舎 2 棟を建設し、塚原駐ベナン日本大使及びアジョヴィウィダ市長出席の下、引渡式が開催された。

<http://www.bj.emb-japan.go.jp/j/pdf/geppo%20201410.pdf>

### モザンビーク月報 (2014 年 10 月)

#### 【内政】

●15 日、第 5 回モザンビーク共和国大統領、国会議員選挙及び第 2 回州議会議員選挙の投票が行われる。

●30 日、国家選挙委員会が今次総選挙の最終結果を発表し、フェリッペ・ニュシ候補（フレリモ）が 57.03%を獲得し勝利。憲法評議会での承認を受け最終確定となる。

#### 【外交】

●ヴァキナ首相は、ザンビア独立 50 周年式典に出席のためザンビアを訪問。

#### 【経済】

●9 月 30 日、JBIC とモザンビーク鉱物資源省は、同国内資源開発について情報交換拡大を目的とする覚書に署名。

●2 日、モザンビーク初の国産車「マジジ」組立工場の竣工式。

●10 日、EDM と日本企業との間で、新規ガス複合式火力発電計画のコンサルタント契約調印式。

●10 月にモザンビークまぐる会社 (EMATUM) がモザンビーク沖でまぐる漁を開始すると発表。

●20 日、中小企業振興機構 (IPEME) が JICA を通じて実施中の技術協力プロジェクト「一村一品運動を通じた地域産業振興プロジェクト」(通称: CaDUP) のセミナーがマニカ州で開催された。JICA との共同でモザンビーク政府は、中小企業向けファンドを設立し、金融機関を通じた起業プロジェクトへの資金を融資する。同ファンド・メカニズムにより、Millenium Bim、BCI、Banco Unico、Moza Banco の各銀行による融資を受けることが可能となる由。CaDUP は、マプト州、ガザ州、イニャンバネ州で、農産物加工業、民芸品製造業、観光業、商業、陶器製造業等の業種に対して実施されている。

24 日、中国企業 Wambao 社がショクエ灌漑公社 (HICEP) と協力してガザ州の稲作開発を実施中。家族農家や組合向けのトラクター、電動ポンプをはじめあらゆる農機具を貸し出し、また改善された作付け手法を利用することにより、今後生産が拡大される見込み。

<http://www.mz.emb-japan.go.jp/1410.pdf>

## ルワンダ月報 (2014 年 10 月)

### 【内政】

- 14 日、先月辞任したインタウクリヤヨ氏の後任として、ベルナール・マクザ (Bernard Makuza) 氏が新上院議長として選出。
- 24 日、ルワンダ公共放送規制局 (Rura) はジェノサイドを否定する番組を放送した BBC のルワンダ語によるラジオ放送を一時中断することを発表。

### 【外政】

- 16-17 日、キガリで東アフリカビジネスサミットが開催。
- 22 日、カガメ大統領はロンドンで開催された、ルワンダ・英国ビジネスフォーラムに出席。
- 25 日、東アフリカ共同体 (EAC)、東南部アフリカ市場共同体 (COMESA) 及び南部アフリカ開発共同体 (SADC) は、3 機関自由貿易協定 (FTA) の協定を結ぶことで合意。
- 29 日、カガメ大統領は韓国を 2 日間の日程で訪問し、ソウルで朴大統領と面会し、二国間協力について議論。

### 【経済】

- 2014 年第 2 四半期の GDP 成長率は、第 1 四半期の 7.4%から 6.1%に下落。

[http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda\\_news\\_2014.10.pdf](http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.10.pdf)